

こちら危機管理課お天気相談所

～気象防災アドバイザーによるすぐに役立つ気象情報を月1で配信～

※気象防災アドバイザーとは「地域の気象に精通し、地方公共団体の防災対応を支援することができる人材」として国土交通大臣が委嘱した方です。



Yoshiaki Yano

ときには想像を超える豪雨も！

“雲から猛烈な雨が降ってくる様子を描いてください”と言われたとき、皆さまはどのような絵を思い浮かべるでしょうか？

決して扁平な雲から降るわけではありません。右の画像の様に、上空に向けモクモク盛り上がった雲から降ります。

昨年(2025年)7月10日に東京都23区西部を襲った雨は、私たちが普段想像する“雨”の域を遙かに超えるものでした。夕方のわずか1時間で100ミリを超える猛烈な雨が降り、練馬区付近や中野区付近では一時間に約110ミリ、杉並区付近では約120ミリというレーダー解析値が示され、気象庁は次々と記録的短時間大雨情報を発表しました。

この豪雨は、暖かく非常に湿った空気が都心に流れ込み、日中の昇温と上空の寒気が重なって大気が非常に不安定となり、発達した積乱雲がゆっくりと居座ったことが原因です。

皆さまは、これまでどれくらいの強さの雨を体験されたでしょうか。雨の強さと降り方は、

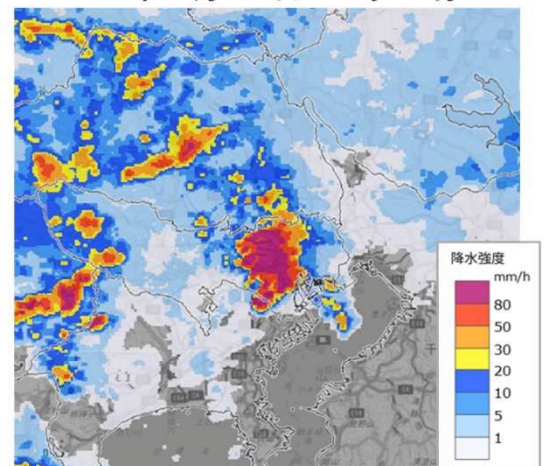
- ・土砂降り：1時間に20～30ミリ
- ・バケツをひっくり返したような雨：一時間30～50ミリ
- ・滝のような雨：一時間50～80ミリ

です。



2012年9月1日 筆者撮影

2025年7月10日 18時25分



出典：気象庁ホームページ 雨雲の動き

記録的短時間大雨情報 発表基準：100ミリ以上	
18時40分	練馬区付近で約110ミリ 杉並区付近で約100ミリ
18時50分	中野区付近で約110ミリ 渋谷区付近で約100ミリ
19時	杉並区付近で約120ミリ 目黒区付近で約100ミリ 世田谷区付近で約100ミリ

出典：令和7年7月10日の大雨に関する
東京都気象速報 東京管区気象台

そして、1時間に80ミリを超える“猛烈な雨”となると、景色は一変します。道路に雨水が叩きつけられ水しぶきが舞い、辺り一面が白っぽく煙った様になります。見通しは急激に悪化し、傘は全く役に立ちません。足元は一瞬でズブ濡れになり、外にいること自体が危険だと感じ、建物の中に入りたいと感じるほどです。耳に届くのはけたたましい雨音だけ、息苦しく圧迫感と恐怖に包まれます。車の運転も前方が全く見えず、極めて危険になります。

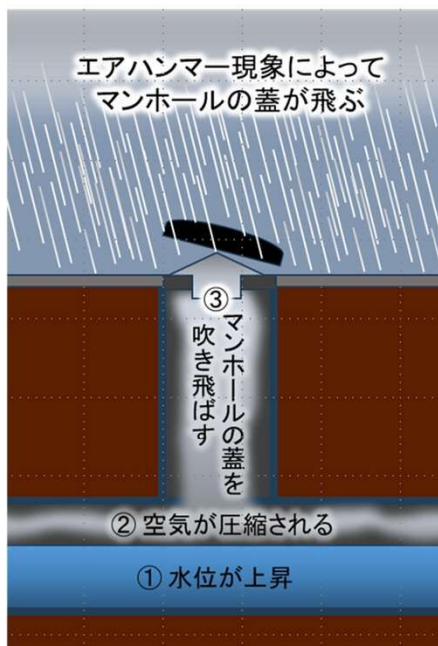
この日の雨では、渋谷区内で床上浸水7棟、床下浸水1棟の被害が発生し、目黒川に一時“氾濫危険情報”が発表されました。渋谷駅周辺の道路では足首が浸かるほどになり、改札前の通路も冠水したと報じられています。

近くのアンダーパスでは車が冠水し、運転した女性が一時取り残されましたが、警察により無事救出されました。

マンホールから水が激しく吹き溢れる現象も起きたそうですが、横浜市港北区でもほぼ同じ頃に豪雨があり、エアハンマーという現象により、マンホールの蓋が数メートルも吹き飛ばす事例が発生しています。これは、豪雨で大量の雨水が下水道管に急激に流れ込み、管内の水位が急上昇し、空気が一気に圧縮されます。



筆者撮影



逃げ場を失った空気が重いマンホールの蓋を押し上げ吹き飛ばしてしまいました。

マンホール隙間から空気が吹き出す「プシュー」という音や、蓋がカタカタ動く様子を見たら危険です。すぐにその場を離れることが重要です。

都市部では、地面がアスファルトなどで覆われているため、雨水が地中に浸透しにくく、排水能力を超えると数十分もせず道路が冠水します。地下街や地下駐車場に水が流れ込む危険もあり、街の景観が一変してしまいます。

東京地方で1時間に100ミリ以上の雨が観測されたり、レーダーで解析されたりした際には、これまで“記録的短時間大雨情報”が発表されていましたが、今年5月29日からは「気象防災速報(記録的短時間大雨)」という名称に変わりました。“気象防災速報”は、極端な気象現象を迅速に伝えるための情報で、“気象防災速報(竜巻注意/竜巻目撃)”なども含まれます。

テレビやSNSでこの速報が発表されたことを知ったときは、“近くで非常に強い雨雲が発生しているかもしれない”というサインです。また、大気不安定に伴う局地的な大雨の注意喚起があったときは、周囲の空の様子を確認すると共に、雨雲レーダーなどで真っ赤な強い雨のエリアが発生していないか、近づいていないかぜひ確認をお願いしたいと思います。また、葛飾区の防災情報が集約されている「葛飾区防災ポータル(かつらっぱ)」の普段からの活用もお願いいたします。

これから真夏に向けて、雷雲(積乱雲)が発生しやすい季節になります。皆さまのご自宅周辺の排水口や側溝は詰まっていますか。豪雨のとき、わずかなつまりが冠水や浸水被害につながる可能性があります。“大雨の降る前の点検”が、地域の安全を守る一歩、ぜひ一度確認してみてください。

葛飾区防災ポータル(かつらっぱ)



排水口の点検を!

